

基本目標 4 身近な学びと交流のあるまちをつくるために

施策 13 生涯学習のまちづくり

目的

《対象》市民

《意図》生涯にわたり学習し、学んだことをまちづくりに生かす

施策の方向

○市民が生涯を通じて学習に取り組み、いきいきと豊かな人生をおくることができるよう支援するとともに、学んだ成果が市民同士の交流やまちづくりに生かされるよう、生涯学習を振興していきます。

施策の達成状況

まちづくり指標	基準値	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標値
生涯学習情報システムのアクセス数	5万4,866件 (H25)	5万4,866件	7万3,071件	5万9,654件	8万9,996件	-	6万8,000件 (H30)
公民館や図書館の満足度	70.0% (H26)	68.8%	70.0%	69.8%	70.1%	69.1%	80.0% (H30)
生涯学習情報システムの登録団体数	801団体 (H26)	800団体	801団体	779団体	768団体	-	840団体 (H30)
学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	14.3% (H26)	16.2%	14.3%	16.0%	15.7%	15.3%	25.0% (H30)

その他

- 調布市立図書館開館 50 周年事業の実施（平成 28 年度）
- 市民が主体的に地域の情報を発信できる電子掲示板機能等を付加した「ちょうふ地域コミュニティサイト（ちょみっと）」の開設（平成 29 年度） など

■ 現状と課題

- 調布市は多様な特色を持つ、市内・近隣大学等と相互友好協力協定を締結し、生涯学習やまちづくりの多くの分野で連携を図っています。引き続き、連携を強化しながら事業を展開していくことが重要です。
- 平成 29 年 4 月から運用を開始したちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用し、市民の主体的な地域情報の発信を促進しています。
- 調布市内に 11 館ある図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習の場として利用されています。今後の図書館は、地域の情報拠点としての機能のほか、読書や交流の場の機能を備えたものであることが期待されます。そのため、多様な媒体の資料や情報を収集し、利用者の課題解決につながる資料や映画・地域資料の充実にも努めるとともに、学校図書館や他の生涯学習施設、ボランティア活動等と連携を図っていく必要があります。
- 公民館は、身近な学習を自らの生活に生かし、その成果を地域の活性化につなげていけるよう、地域の課題解決に向けた支援を行っていく必要があります。

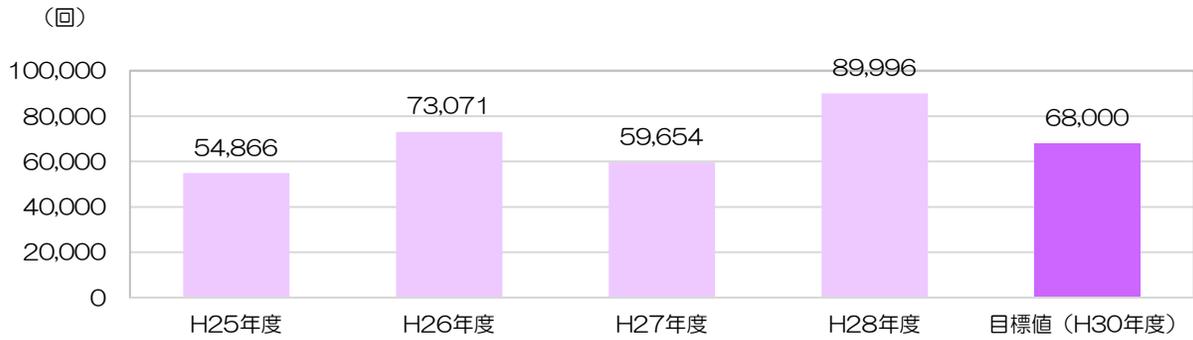
■ 次期基本計画策定に向けた主なポイント

- 市民が生涯を通じて学習に取り組み、いきいきと豊かな人生をおくることができるよう、生涯学習の拠点施設である文化会館たづくりや図書館等を活用し、多様な学習のきっかけづくりを進めていく必要があります。
- 多様化する学習ニーズに対応し、学びの機会の充実を図るとともに、市民の学習成果を発表する場を提供するなど、学んだ成果が市民の交流やまちづくりに生かされるよう、生涯学習を振興していく必要があります。
- 地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用し、市内イベントや生涯学習サークルを含む地域活動団体を簡単に検索できるようにするなど、調布で暮らす方のための情報をわかりやすく発信していく必要があります。

13-1 学びのきっかけづくり

【まちづくり指標】生涯学習情報システムのアクセス数

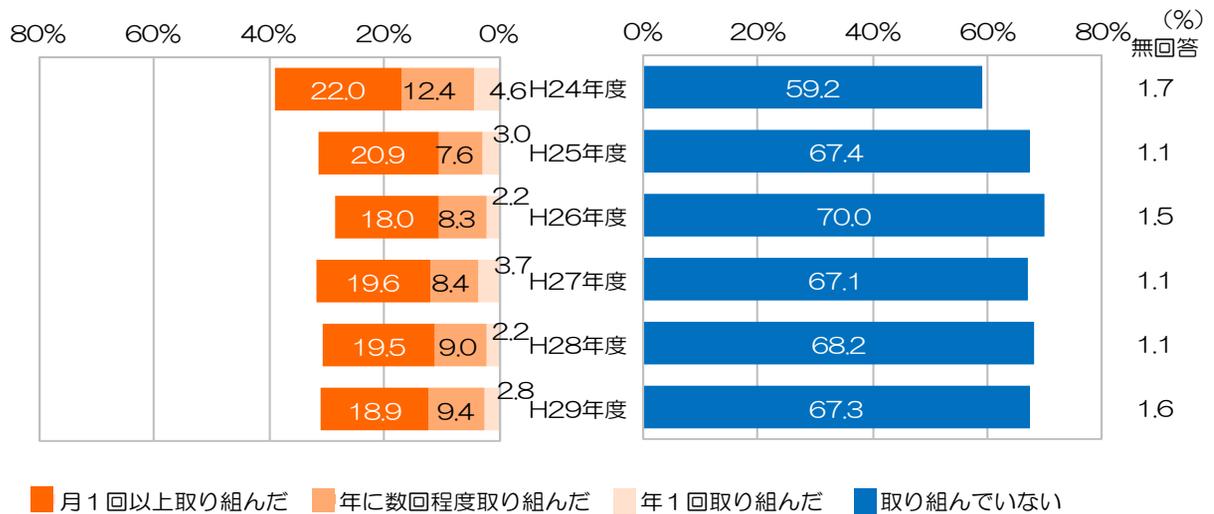
平成 28 年度は前年と比較し大きく増加し目標値を上回っていますが、これは改修作業のためのアクセス増によるものです
さらなるアクセス数増加の取組が必要です



資料：調布市事務報告書（生涯学習交流推進課）

◆この 1 年間に生涯学習に取り組んだ市民の割合（平成 29 年度）

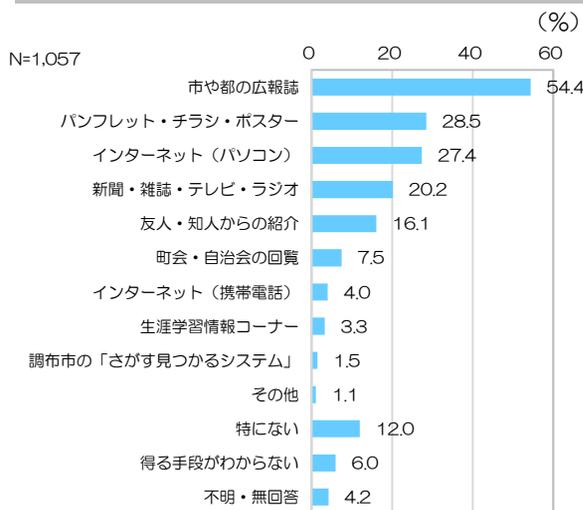
月 1 回以上取り組んだと答えた人は平成 26 年度以降 2 割を下回っています
取り組んでいないと答えた人は平成 25 年度以降 6 割を上回っています



資料：調布市民意識調査

◆生涯学習に関する情報を得る方法

半数以上の市民が市や都の広報誌から生涯学習に関する情報を得ています



資料：調布市生涯学習振興計画策定に向けたアンケート調査 (平成 24 年 1 月)

◆生涯学習出前講座実施状況

平成 25 年度に実施件数及び受講者数が減少しましたが、それ以降は増加傾向にあり、平成 28 年度は平成 24 年度以降最も受講者数が多くなっています



資料：調布市事務報告書 (生涯学習交流推進課)

◆生涯学習ライフステージ別事業実施数 (平成 28 年度)

小学生からシニア層まで、様々な対象者ごとの事業が実施され、利用されています

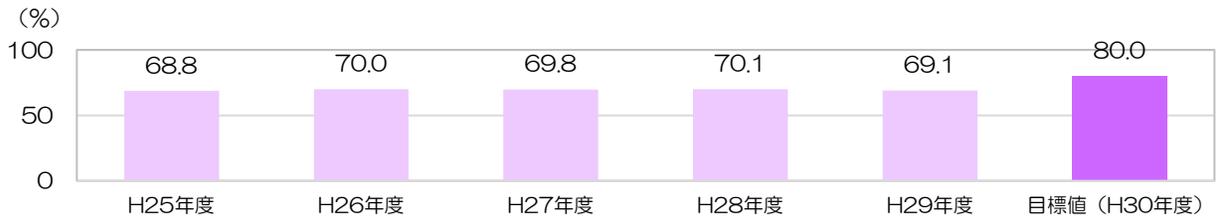
事業名	対象者	実施回数	参加者数	備考
武蔵野美術大学共催事業子どものワークショップ「身近な生き物のペーパークラフトを作ってみよう」	小学校低学年児童親子	1	32	
中学生のための大学一日体験入学の実施	中学生 (保護者含む)	6	150	電気通信大学・桐朋学園大学・東京慈恵会医科大学・明治大学・白百合女子大学・東京外国語大学
中高年のための初心者パソコン教室の実施 (全 8 回)	50 歳以上の市民	2	24	
地域デビュー歓迎会 (全体会)	シニア層	1	76	
地域デビュー歓迎講座 (分科会) (3 講座全 5 回)	シニア層	5	100	
地域デビューフォローアップの会	シニア層	1	24	
生涯学習講演会	生涯学習関連団体等	1	27	
生涯学習出前講座	市内在住・在学・在勤	74	2,022	
生涯学習サークル体験事業	市民	53	141	
出張相談 (会場：公民館)	市民	3	12	
生涯学習サークル活動支援事業 in みんなの広場「相談サロン」	市民	3	54	
生涯学習サークル体験発表コンサート	市民	1	314	
生涯学習サークル体験発表展示会	市民	1	不明	
初めてのエクセル講座 (全 5 回)	市民	1	17	
エクセルにトライ講座 (全 5 回)	市民	1	17	
タブレット端末体験講座 ~さわってみよう iPad~2 日間コース	市民	6	72	

資料：生涯学習交流推進課

13-2 学べる機会の充実

【まちづくり指標】公民館や図書館の満足度

毎年7割程度の市民が公民館や図書館に満足していると回答しています



資料：調布市民意識調査

◆市内の図書館蔵書数、登録状況（平成28年度）

	中央	国領	調和	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	佐須
蔵書数(冊)	854,839	49,954	47,837	50,279	45,448	43,888	48,247	51,560	53,505	53,739	53,329
有効登録者数(人)	48,992	5,103	5,396	4,658	4,885	3,387	3,835	1,911	4,549	4,006	3,360

資料：調布市事務報告書（図書館）

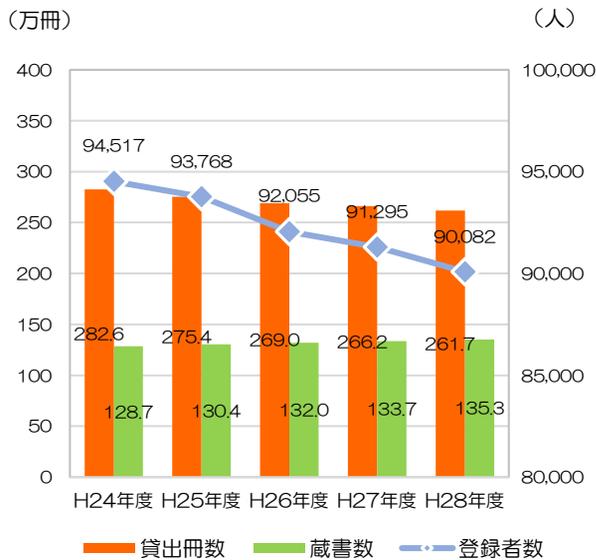
◆市内の公民館の利用状況（平成28年度）

	東部公民館	西部公民館	北部公民館
利用件数(件)	2,367	1,639	2,964
利用人数(人)	31,351	25,129	34,350

資料：調布市事務報告書（公民館）

◆図書館の状況

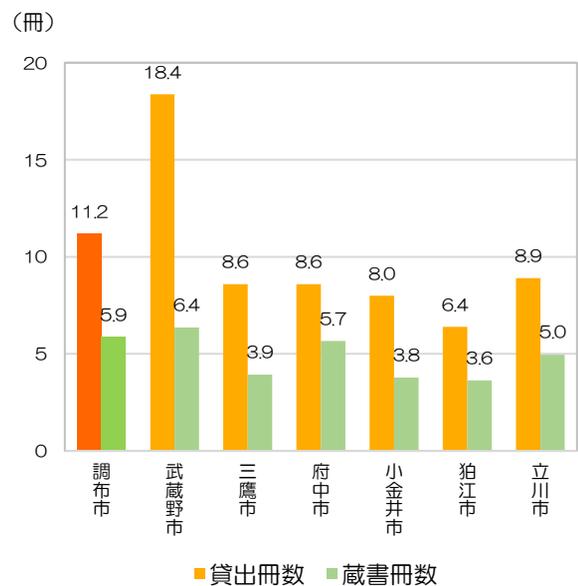
貸出冊数及び登録者数は年々減少傾向にあります
蔵書数は横ばいで推移しています



資料：調布市事務報告書（図書館）

◆市民1人当たりの貸出冊数、蔵書冊数（平成28年度比較）

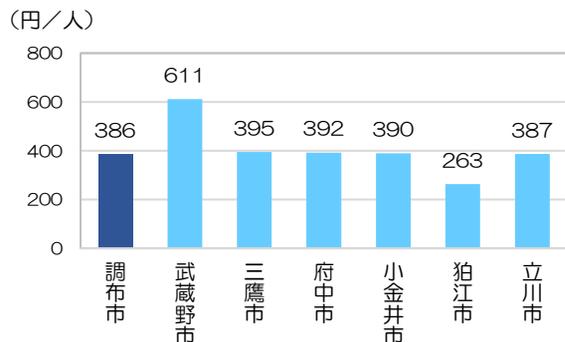
調布市の貸出冊数及び蔵書冊数は、近隣自治体で2番目に多くなっています



資料：平成29年度 東京都公立図書館調査
※1人当たりの値は東京都の統計「住民基本台帳による世帯と人口」（平成29年4月1日現在）を用いて算出

◆市民 1 人当たりの図書購入費（平成 28 年度比較）

近隣自治体の中で、調布市の図書購入費はおおよそ平均的となっています



資料：図書館

※1 人当たりの値は東京都の統計「住民基本台帳による世帯と人口」（平成 29 年 4 月 1 日現在）を用いて算出

◆図書館利用登録率（平成 28 年度比較）

近隣自治体の中で、市民登録率は最も高くなっています

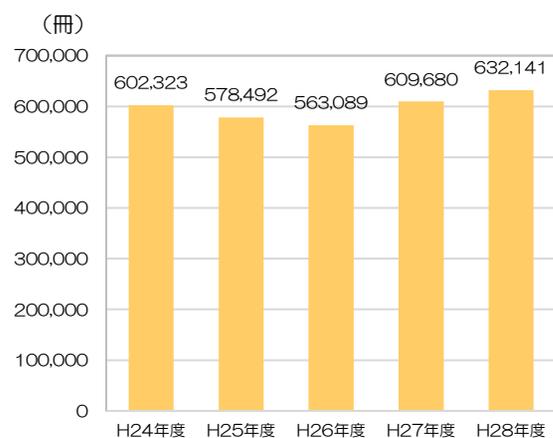


資料：平成 29 年度 東京都公立図書館調査

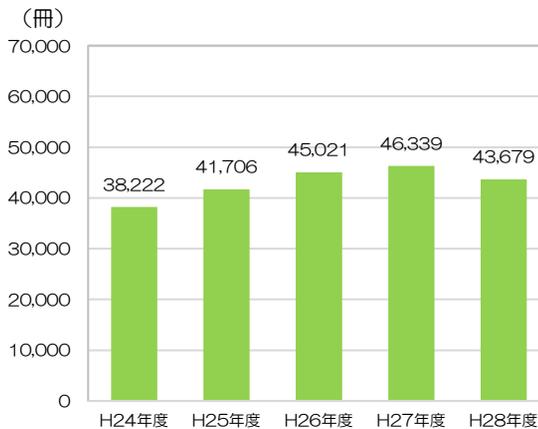
◆学校図書館の貸出冊数

小学校では平成 26 年度以降増加していますが、中学校は平成 28 年度は減少に転じています

小学校



中学校



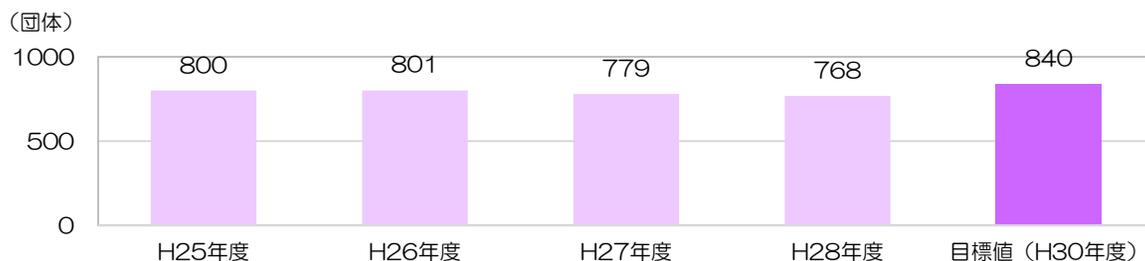
資料：指導室

13—3

団体の学びの活動支援

【まちづくり指標】生涯学習情報システムの登録団体数

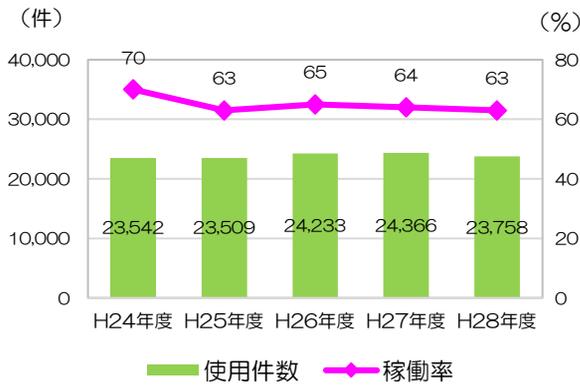
平成 26 年度以降年々減少傾向にあります
今後、長期的にサークル・団体活動が維持できるよう継続した支援を行う必要があります



資料：調布市行政評価

◆調布市文化会館たづくり会議室系施設利用状況

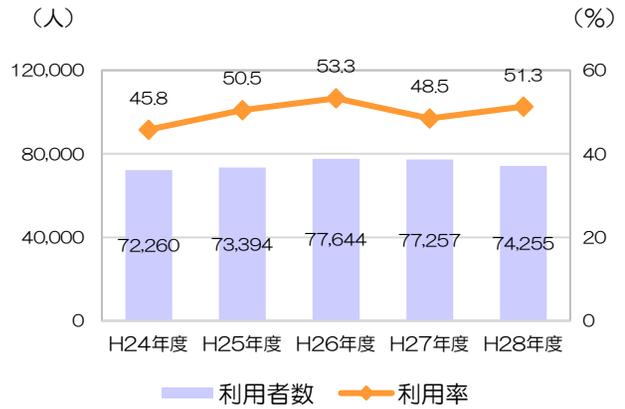
平成 25 年度以降、稼働率は 65%程度で横ばいになっています



資料：調布市事務報告書（文化振興課）
※各稼働率は各室値を用いて算出

◆市民プラザあくろす利用状況

利用者数及び利用率は横ばい傾向です

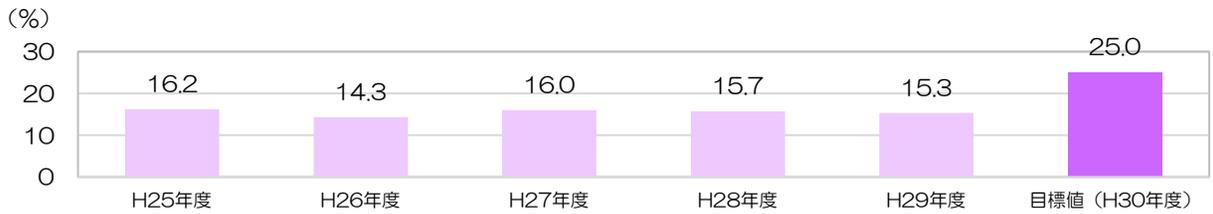


資料：調布市事務報告書（男女共同参画推進課）

13-4 まちづくりへの学びの成果の活用

【まちづくり指標】 学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合

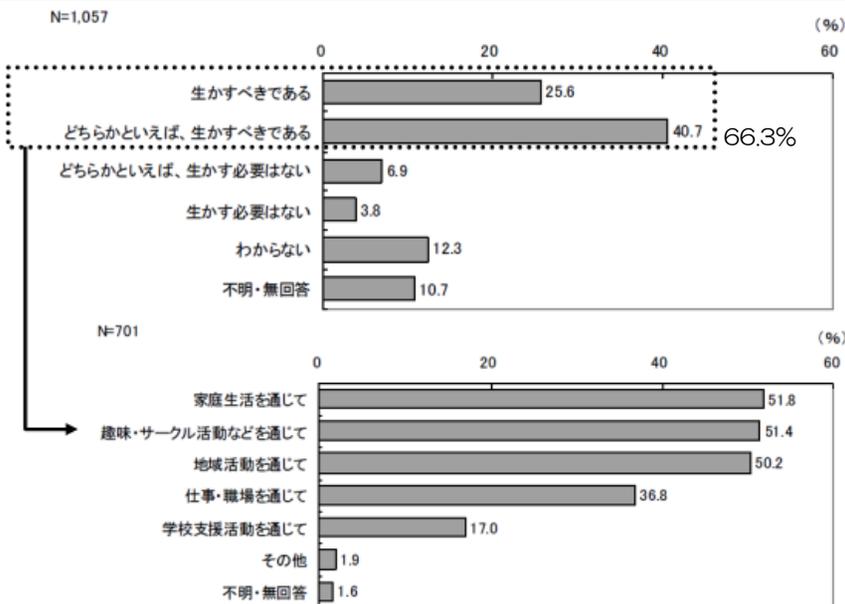
平成 27 年度以降微減傾向にあり、学習の成果を生かす機会などの支援の充実が必要です



資料：調布市民意識調査

◆「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、自分以外のために活かすべきか

市民の約7割が、学びの成果を地域活動を通じて生かすことが必要と考えています
また、その知識・技能や経験を家庭生活・趣味サークル活動・地域活動に活かすべきと回答している方が多くなっています



資料：調布市生涯学習振興計画策定に向けたアンケート調査（平成 24 年 1 月）

多様な主体との連携事例

「さがす見つかるシステム」地域ポータルサイト化事業

生涯学習・市民活動情報に留まらない「地域情報」を幅広く発信するため、「調布市生涯学習情報システム（さがす見つかるシステム）」の再構築を行いました。再構築により地域ポータルサイトとしてリニューアルするにあたり、「ちょうふ地域コミュニティサイト ちょみっと」を、地域に密着した情報を広く発信できるサイトとするため、市内の市民団体とのネットワークを持ち、地域活動にも幅広い見識を持つパートナーであるNPO 法人と検討を重ねました。

【所管課】

生活文化スポーツ部 生涯学習交流推進課
協働推進課

【協働のパートナー】

特定非営利活動法人 調布市地域情報化コンソーシアム



<ちょみっとトップページ>

多様な主体との連携事例

調布市成人式

成人式の企画・運営に当たって、20歳前後の若者からなる成人式実行委員会を組織し、若者のアイデアを積極的に取り入れた成人式を実施しています。実行委員については、市報やホームページで募集しているほか、市内の大学等からの推薦により決定しています。また、平成27年成人式からは、市内の企業であるアフラックの若手社員が実行委員として参加しています。

【所管課】

教育部 社会教育課

【協働のパートナー】

成人式実行委員会（リーダー事業出身者、桐朋学園芸術短期大学学生、白百合女子大学学生、アフラック若手社員、市職員）



<成人式実行委員会>

